



2025年7月15日  
東日本旅客鉄道株式会社

## TAKANAWA GATEWAY CITY 「100年先の心豊かな未来を創る実験場」が始動 —まちびらきから100日、そして来春グランドオープンへ—

- 国内最大規模のエキマチ一体の街「TAKANAWA GATEWAY CITY」はまちびらきから100日を迎え、延べ200万人以上が来場。来春のグランドオープンに向け、新しいビジネスや文化を街全体で創造し続け「地球益」を実現する街が始動しました。
- 街を実験場とするスタートアップエコシステムを支える「高輪地球益ファンド」が、出資規模を国内トップクラスとなる100億円へ拡大し、4社の共創パートナーに出資しました。
- 駅直結の多目的ホールとしては都心最大級のMICE施設「TAKANAWA GATEWAY Convention Center」も本格稼働しました。
- 「MoN Takanawa: The Museum of Narratives」は、街の文化創造の役割を担い、また、未だ日本にない大人が楽しめるナイトタイムエコノミーの核となります。
- 国内最大級の蓄熱槽（THE LINKPILLAR 2地下）でCO<sub>2</sub>実質ゼロの効率的なエネルギーマネジメントを実現します。
- TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCEに設ける12戸の住居では、この街の都市OSを核とした「TAKANAWA INNOVATION PLATFORM」により、住民自身が共創パートナーとなり、未来の暮らしを創造していきます。
- 2027年、「MoN Takanawa」の隣接地に、若手のクリエイターやアーティストが集い、暮らし、創作を行う住居・アトリエ施設が誕生します。



2026年春のグランドオープンにより、一日の昼間人口10万人の街が誕生します。

# 1. いい未来を生み出す「ビジネス」「文化」「くらし」の共創スタート

## (1) 【ビジネス創造】高輪地球益ファンドが100億規模へ拡大し共創を加速

ビジネス創造施設「LiSH」(Link Scholars' Hub)は100社を超えるスタートアップや大企業のR&D部門が入居し本格稼働しました。LiSH会員間の交流からビジネス支援まで、共創の輪が広がっています。また、「地球益」の実現に資する新たなビジネス創造を支援する「高輪地球益ファンド」はファンド規模を50億円から最大約100億円に拡大。動き出した「広域スタートアップエコシステム」での実証を通し、地球規模のさまざまな社会課題解決に取り組み、「地球益」の実現を目指します。



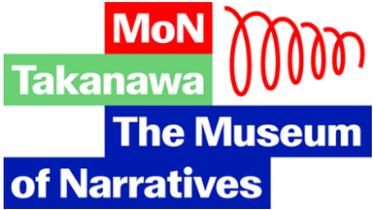
- 「三菱UFJ信託銀行株式会社」に加え、新たに「株式会社秋田銀行」「芙蓉総合リース株式会社」「株式会社西武ホールディングス」が高輪地球益ファンドに参画します。
- 第1弾出資先である「Boston Medical Sciences株式会社」が研究開発中の大腸がんの早期発見を可能にするシステムは、来春開業のTHE LINKPILLAR 2内クリニックへ導入を検討中です。今回出資を決定した3社についてもGateway ParkやLiSH等での実証を実施します。



## (2) 【文化創造】文化を通じ、心豊かな体験価値を提供し続ける街が始動

- MoN Takanawa: The Museum of Narratives (モン タカナワ: ザ ミュージアム オブ ナラティブズ)  
2026年春に開館する同施設は、「伝統を未来につなぎ、新たな日本文化を創造・発信するミュージアム」として、多言語翻訳や親子鑑賞など年齢や言語を問わず楽しめる伝統文化体験や映像と音楽が一体化した没入型のライブ・パフォーマンス、展覧会、飲食など、朝からアフターシアターまで文化的に豊かな時間を提案し、年2回設定するテーマ(=問い)を通してこれまでにない多彩な文化体験ができる唯一無二の文化創造発信拠点です。

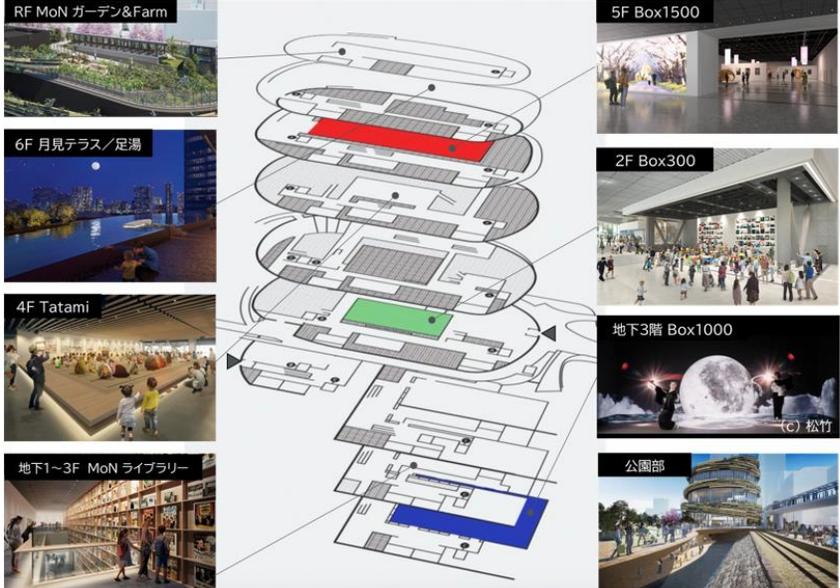
MoN Takanawaの外観を想起させるスパイラル状のシンボルマークは、文化が止まることなく、螺旋を描きながら移り変わり、時間と空間を超えて物語を紡ぎ、未来へ伝えていくという精神を表現しています。物語のミュージアムとして「文化を単に保存するだけでなく、100年先へ文化をつなぐため、文化を更新し、常に新しく生まれ変わる場所でありたい」という想いを視覚的にも表現しています。



季節を彩る  
200種を超える草木を植生

100畳敷のたたみ空間  
伝統芸能×テクノロジー  
和楽器ライブ・大茶会で  
日本文化をいつでも体験

アート・書籍・グッズが  
並ぶMoNのライブラリー



地方の美術館博物館とデジタル映像で連携足を運びさっけ顔成

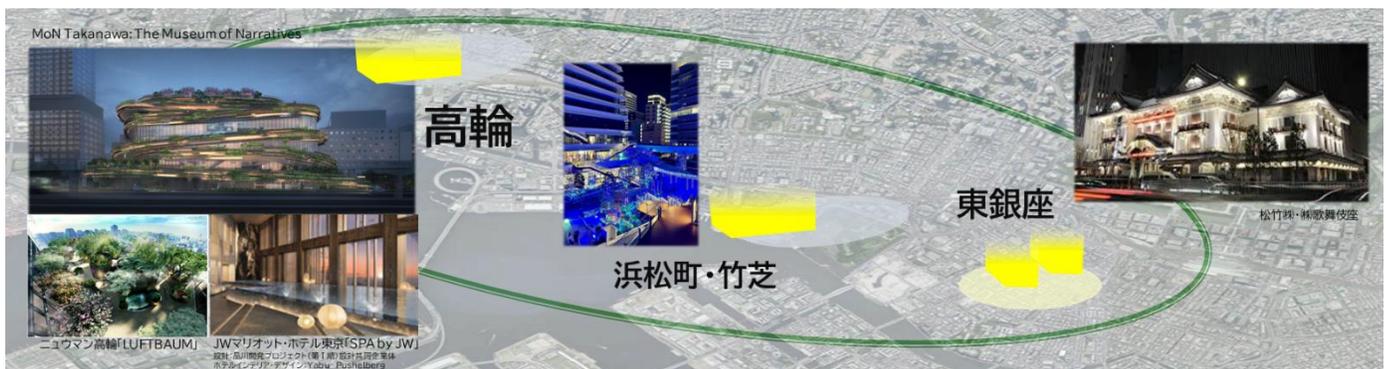
迫力の映像を体感できる多目的ベンチャー歴史と未来をつなぐライブパフォーマンス

松竹などと連携した舞台と鑑賞者が一体となるイマーシブ鑑賞体験

公園部と連動した高輪築堤体験展示

## ● 新たなナイトタイムエコノミーの拠点となる街

浜松町・竹芝や東銀座エリアと一体となって、文化施設・史跡や水上交通を活かした、文化的に豊かな夜時間の過ごし方を提案する、東京の新たなナイトタイムエコノミーエリアを創出します。「ニューマン高輪」の眺望の良い「LUFTBAUM」での食事や、サウナ施設でのリトリート、10月2日に開業する「JWマリオット・ホテル東京」でのステイ、エキサイティングな「エキナカDJイベント」、日本では珍しい深夜帯まで開館の「MoN Takanawa」での多彩な文化体験を通して、国内外のお客さまに、街全体として充実したナイトタイムを楽しめるユニークメニューを提供します。



### (3) 【くらし創造】心豊かな未来のくらしをかなえる住居・街のプラットフォーム

#### ● 新しい未来の暮らし提案型住居

TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE 5階エリアに全12戸、「未来の住まいや暮らし」を提案する住居が誕生します。コンセプトは“新しい発見・刺激を収穫できて、心が豊かになれる住宅”。

「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として、住宅・街・Suicaや当社のアセットと連携した設備・サービスを暮らしの中にインストールします。住まう人も「未来を創造する共創パートナー」として、ここでの暮らしを通じた新たなイノベーションをこの街から発信します。



※将来的なサービスイメージ

#### ● 街での未来の暮らしを支える「TAKANAWA INNOVATION PLATFORM」

未来の暮らし提案型住居ならではの体験価値を支えるのは、TAKANAWA GATEWAY URBAN OS・TAKANAWA GATEWAY CITYアプリ・ロボットプラットフォームで構成されるこの街独自の「TAKANAWA INNOVATION PLATFORM」。

まちびらき以降、Gateway ParkでのロボットデリバリーやSuicaタッチトリガーと連動した街の情報のパーソナルレコメンドなどのサービスを実装している同システムが、更に機能拡張することで、この街ならではの快適性と先進性を兼ね備えた心豊かな未来の暮らしの実現を支えます。

## 2. 環境に優しい効率的なエネルギー管理を先導する街

#### ● 東日本エリア初のビルイン型バイオガス施設

THE LINKPILLAR 1内にあるビルイン型バイオガス施設は、7月1日に都区部初の再生利用業として指定を受けました。TAKANAWA GATEWAY CITYの飲食店等から出る食品廃棄物を資源として1日あたり最大約4トン再利用し、使用した食品廃棄物の約7割を削減します。生成したバイオガスをホテルの給湯エネルギーとして活用、年間約144トンのCO<sub>2</sub>削減（一般家庭58世帯のエネルギー消費量分<sup>注</sup>）を目指します。

注：環境省「令和5年度家庭部門のCO<sub>2</sub>排出実態統計調査結果について（確報値）」の全国世帯当たり年間エネルギー種別CO<sub>2</sub>排出量数値を参照

● CO<sub>2</sub>実質ゼロを実現する街の中核を担うエネルギーセンター

来春開業するTHE LINKPILLAR 2の地下には、街のエネルギーマネジメントを支えるエネルギーセンターを備えます。中でも心臓部といえる国内最大級の蓄熱槽は、50mプール8個分・地下3層分（20,500m<sup>3</sup>、縦29m×横49m×深さ21m）にもなる巨大空間です。年間を通してエネルギー使用の多い冷暖房のエネルギーを効率的に運用します。



国内最大級の蓄熱層(一部)

3. 若手クリエイター・アーティストが集う住居・アトリエ施設が新たに誕生

MoN Takanawaをはじめとする、街のあらゆるフィールドを舞台に入居者が共創パートナーとして文化的実験や発表等を行う、「文化・芸術の価値創造エコシステム」を創るため、MoN Takanawaに隣接した位置に、次世代を担う若手クリエイター・アーティスト等を対象とした賃貸住居・アトリエ施設を創出します。（2027年開業予定）



コンセプトは CREATIVE CLUB「HOMEGROWN」。想像力豊かな若手クリエイターやアーティスト、学生など、次世代を担い活躍してゆく才能ある人材が集う「クリエイティブハブ」となります。



※CG パース・画像はすべてイメージ

13区画からなるワンルーム賃貸居室、防音性能に優れた小規模アトリエオフィス等を備えたこの施設では、多様な若い才能が出会い、暮らし、相互に刺激し合いながら創作活動を行います。最上階にあるコミュニティキッチン・ラウンジでは、入居者が日常的に交流し、新しいアイデアやクリエイティブを生み出します。



建物情報	敷地面積/347.67 m <sup>2</sup> 延床面積/1,999.64 m <sup>2</sup> 高さ/36.75m 階数/地上9階、屋上
用途	店舗、事務所、住居（寄宿舎）、 コミュニティキッチン・ラウンジ
設計施工	第一建設工業株式会社東京支店
総合デザイン	佐藤宏尚建築デザイン株式会社

ここに集う才能あるクリエイター・アーティストをはじめ、高輪の将来構想テーマのひとつ「人財・叡智～異才が輝く知の開国」のもと、才能をより磨き上げ、グローバルな活躍を支援していきます。



本件プレスリリースは、ときわクラブ、丸の内記者クラブ、JR記者クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会へお届けしています。

## 【参考】

### < 「TAKANAWA GATEWAY CITY」のまちづくり概要 >

品川開発プロジェクトの一環として、江戸の玄関口としての役割を担った歴史的背景および国内初の鉄道が走った地におけるイノベーションの記憶を継承し、開発コンセプトに「Global Gateway」を掲げ、「100年先の心豊かなくらしのための実験場」として新たなビジネス・文化が生まれ続けるまちづくりに取り組んでいます。

そして、まちづくりを進める中で出土した高輪築堤は、国指定史跡の第7橋梁部および公園部の現地保存・公開（2027年度予定）に加え、信号機土台部の移築保存・公開や先端技術を活用した展示、街のランドスケープ等での保存・活用を通して、日本で初めて鉄道が走ったイノベーションの地としての記憶を、次の100年に継承していくことにより、地域の歴史的価値向上に努めていきます。

2025年3月27日には、THE LINKPILLAR 1が開業し、高輪ゲートウェイ駅が全面開業しました。その他の棟（THE LINKPILLAR 2・MoN Takanawa: The Museum of Narratives・TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE）および各棟周辺エリアは2026年春に開業します。

今後も続くTAKANAWA GATEWAY CITYおよび品川駅周辺エリア（品川駅北口駅改良・品川駅街区）のまちづくりと一体となった価値向上に向けて、品川開発プロジェクトを推進していきます。

公式ウェブサイト (<https://www.takanawagateway-city.com>)

< 関連するこれまでのプレス >

●2024年3月5日「TAKANAWA GATEWAY CITY」を拠点とした広域スタートアップエコシステム～100社以上のスタートアップを支援「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub」が誕生～

[https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240305\\_ho02.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2023/20240305_ho02.pdf)

●2024年10月30日「TAKANAWA GATEWAY CITY」～2025年3月27日 いよいよまちびらき～

[https://www.jreast.co.jp/press/2024/20241030\\_ho02.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2024/20241030_ho02.pdf)

●2025年2月4日 100年先の心豊かなくらしのための実験場 TAKANAWA GATEWAY CITY まちびらきまであと50日 街の誕生を彩るサービス・イベントが決定

[https://www.jreast.co.jp/press/2024/20250204\\_ho03.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2024/20250204_ho03.pdf)

●2025年3月24日 街のサービスを集めた「TAKANAWA INNOVATION PLATFORM」

100年先の心豊かなくらしに向けてサービス開始

[https://www.jreast.co.jp/press/2024/20250324\\_ho03.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2024/20250324_ho03.pdf)



## <ビジネス創造施設「LiSH」について>

「TAKANAWA GATEWAY Link Scholars' Hub (略称 LiSH)」は、ディープテック分野などの100社以上のスタートアップをサポートする多様な人材や支援制度を揃え、広域スタートアップエコシステムの拠点となる施設です。世界中の社会課題に対して、多様で先端的な知とのコラボレーションの機会や、鉄道データを含む街のデータ基盤（都市OS）による分析、多様な資金サポートの提供により、ソリューションを生み出し、育て、社会実装までサポートします。

個室やコワーキングスペースに加え、ベースラボ、水圏ラボ、植物ラボ、微生物ラボなどのシェアラボを備えているほか、街全体を実験場として、様々なフィールドをご用意しています。

新たなビジネス創出に向けて、新規会員を募集しています。

LiSH 公式ウェブサイト (<https://www.takanawagateway-lish.com/>)

お問い合わせ先：[takanawagateway-lish@jreast.co.jp](mailto:takanawagateway-lish@jreast.co.jp)



### 施設概要と会員の種類

	Studio1	Studio2	Studio3
利用可能時間	24h	8:00~21:00	8:00~21:00
Studio全体の広さ	約2,300㎡	約670㎡	約750㎡
(個室会員) 個室の種別	3名~6名	4名	2名~4名
(デスク会員) デスクの数	約90席	約50席	約20席

	Lab				
	シェアラボ				個室
	ベース	特化			
	水圏	植物	微生物		
利用可能時間	24h				
受付時間	10:00~18:00				
広さ	約240㎡	約80㎡	約80㎡	約80㎡	約17㎡~26㎡
(個室会員) 個室の種別	-	-	-	-	3名~4名
(シェアラボ会員*) ベンチの数	20台	4台	4台	4台	-

## <高輪地球益ファンド 新規参画 LP 企業及び出資先スタートアップ>

この度、高輪地球益ファンドに新たに3社が Limited Partner として参画しました。当社のアセットだけでなく、参画いただいたまちづくりパートナーのアセットも活用しながら、スタートアップの成長支援に取り組んでまいります。



株式会社 秋田銀行

本ファンドへの出資を通じて「TAKANAWA GATEWAY CITY」を拠点にスタートアップと連携を深めるとともに、秋田県内の地域資源を活用した事業共創により、地域課題解決と新たな価値創造を目指します。

FUYO LEASE GROUP

芙蓉総合リース株式会社

芙蓉総合リース株式会社

多様な産業分野で培った知見やネットワークを最大限活用し、スタートアップの成長支援や社会課題の解決、新たな価値創造に積極的に取り組んでいきます。



株式会社西武ホールディングス

ファンドへの出資を通じた資金支援に加え、西武グループが保有する豊富なアセットを活用した実証機会の提供など、スタートアップの成長を多角的に支援していきます。

### 【出資先スタートアップ】



Boston Medical Sciences 株式会社

早期発見・予防の力で世界から大腸がん死を根絶するを目的に、世界で初めて高精度な仮想的腸管洗浄 AI とポリープ検出 AI による完全無下剤でのバーチャル内視鏡検査システムを開発。早期にグローバルで展開し、大腸がんという、人類のペインを解決することを目指します。



株式会社 10X

「小売業の未来を拓く」をミッションに掲げ、人口減少・労働力不足・デジタル対応の遅れといった小売業界が直面する構造的課題の解決に取むスタートアップ。同社が提供するネットスーパー支援プロダクト『Stailer』は、複数の大手小売企業が導入。都市部のみならず地方が抱える社会課題の解決にも貢献しながら、自動運転やドローンと連携した小売業界における新たな価値の創出を推進していきます。



J-CAT 株式会社

「テクノロジーとクリエイティビティで、魅力あふれる日本の姿を世界へ。」をミッションに掲げ、非日常体験予約サービス『Otonami』（国内向け）および『Wabunka』（インバウンド向け）を運営している。地方産業の活性化や地域文化の振興、また地方と都市をつなぐことにより、旅行業界における観光提案・流動創出を通して新たな価値の創出を推進します。



株式会社 ATOMica

「頼り頼られる関係性を増やす。」をミッション、「あらゆる願いに寄り添い、人と人を結びつづける。」をビジョンに掲げ、ソーシャルワーキング®事業を全国で展開するスタートアップ。未来の働き方や学び方、都市における人間関係のあり方そのものを問い直す「共創的実験」を行うことで、街全体における価値創出を推進します。

### <TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE について>

エキスパッツ（外国人ビジネスワーカー）にも対応した国際水準の高層住戸、テラス型住戸を含むプレミアムレジデンス（賃貸）。低層階には東京インターナショナルスクールが開校予定であり、エキスパッツの教育・子育て環境に相応しい機能を導入しています。また、隣接には植栽や水辺空間を整えて多様な生態系に配慮したビオトープを設け、都会のなかで豊かな自然を感じられるエコロジカルな環境を整備します。

2026年春開業を予定している「TAKANAWA GATEWAY CITY RESIDENCE」への入居を希望される方への情報発信拠点として、インフォメーションサロンを10月に開設します。（詳細は別途公開予定。）

